

2020年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

2019年10月28日

上場会社名 養命酒製造株式会社 上場取引所 東名
 コード番号 2540 URL <https://www.yomeishu.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 塩澤 太朗
 問合せ先責任者 (役職名) 上席執行役員 (氏名) 井川 明 (TEL) 03-3462-8138
 コーポレート本部長
 四半期報告書提出予定日 2019年10月31日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第2四半期の業績 (2019年4月1日～2019年9月30日)

(1) 経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第2四半期	5,222	1.0	487	190.1	669	96.1	612	152.4
2019年3月期第2四半期	5,170	△0.1	168	141.9	341	41.1	242	45.5

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第2四半期	44.57	—
2019年3月期第2四半期	17.67	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第2四半期	45,878	40,081	87.4
2019年3月期	46,347	40,622	87.6

(参考) 自己資本 2020年3月期第2四半期 40,081百万円 2019年3月期 40,622百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	—	—	40.00	40.00
2020年3月期	—	—	—	—	—
2020年3月期(予想)	—	—	—	40.00	40.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年3月期の業績予想 (2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	11,120	5.7	600	7.5	920	4.9	720	4.8	52.39

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年3月期2Q	16,500,000株	2019年3月期	16,500,000株
② 期末自己株式数	2020年3月期2Q	2,750,766株	2019年3月期	2,764,540株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年3月期2Q	13,742,290株	2019年3月期2Q	13,731,555株

(注) 当社は「役員報酬BIP信託」を導入しており、当該信託が保有する当社株式は、期末自己株式数及び期中平均株式数の算定上控除する自己株式に含めております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に掲載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(日付表示の変更について)

「2020年3月期第1四半期決算短信」より日付の表示方法を和暦表示から西暦表示に変更しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間(2019年4月1日から2019年9月30日まで)におけるわが国経済は、企業収益や雇用情勢が改善する中、景気は緩やかな回復基調が続き、個人消費は持ち直してきてはいるものの、海外経済の不確実性、通商問題等、引き続き先行き不透明な状況で推移いたしました。

当社の関連業界におきましても、節約志向、業種業態を越えた企業間競争の激化が続き、厳しい状況で推移いたしました。

このような状況の中で当社は、「生活者の信頼に応え、豊かな健康生活に貢献する」という経営理念の下、中期経営計画(2018年4月～2021年3月)において、「ポジティブエイジングケアカンパニーとして、健やかに、美しく、歳を重ねることに貢献する」という事業ビジョンに基づき、「持続的成長に向けた事業基盤の構築」を基本方針として「選択と集中」「スピードと効率」「コスト管理の徹底」「経営基盤の強化」の基本戦略を推進し、「養命酒の売上回復」と「酒類食品分野の伸長カテゴリーへの注力」により事業の拡大と収益性の向上に取り組んでおります。

当第2四半期累計期間の業績は、売上高は5,222百万円(前年同四半期比1.0%増)、営業利益は広告宣伝費の一部を第3四半期以降へ先送りしたこと等により487百万円(前年同四半期比190.1%増)、経常利益は669百万円(前年同四半期比96.1%増)、四半期純利益は社有地売却に伴う固定資産売却益207百万円を特別利益に計上し、612百万円(前年同四半期比152.4%増)となりました。

セグメント別には以下のとおりです。

① 養命酒関連事業

養命酒関連事業の売上高は5,034百万円(前年同四半期比1.0%増)となりました。

<養命酒>

国内における「養命酒」につきましては、ドラッグストア等主要販売チャネルである小売店での店頭陳列の強化や購入促進施策等の販売促進活動に取り組むとともに、新たな販売チャネルとして開拓している保険薬局取扱店舗数の拡大に努めました。プロモーションにつきましては、引き続き胃腸の不調をテーマにしたウェブを中心とするコンテンツマーケティングに加え、テレビスポット広告等を実施しました。また、消費増税による駆け込み需要も一部あり、売上高は、3,856百万円(前年同四半期比1.8%増)となりました。

海外における「養命酒」につきましては、商品理解の促進と購買意欲の向上を目指し、主要輸出先(台湾・香港・マレーシア・シンガポール)の市場環境に合わせた販売促進活動を実施しました。売上高は、115百万円(前年同四半期比0.0%増)となりました。

以上の結果、「養命酒」全体の売上高は3,972百万円(前年同四半期比1.7%増)となりました。

<その他商品・サービス>

「ヘルスケア」につきましては、「養命酒製造の黒酢」の保険薬局取扱店舗数の拡大に取り組みました。「ヘルスケア」の売上高は、68百万円(前年同四半期比19.6%増)となりました。

「酒類」につきましては、引き続き2019年3月発売の「クラフトジン」の新規採用や定番化に向けた営業活動に注力した一方、「フルーツとハーブのお酒」の売上が減少しました。「酒類」の売上高は、325百万円(前年同四半期比14.3%減)となりました。

「食品」につきましては、「グミ×サプリ」、2018年10月発売の「養命酒製造のど飴」、2019年3月発売の「黒豆黒酢」、「養命酒製造 甘酒」の取扱店舗数の拡大に注力しました。「食品」の売上高は、322百万円(前年同四半期比11.7%増)となりました。

「リテール」につきましては、「くらすわ」及び「養命酒健康の森」のショップが天候不順や観光客数の減少等の影響を受けました。「リテール」の売上高は、345百万円(前年同四半期比2.2%減)となりました。

以上の結果、「その他商品・サービス」全体の売上高は1,062百万円(前年同四半期比1.6%減)となりました。

② その他

不動産賃貸と鶴ヶ島太陽光発電所の売上を合算し、売上高は188百万円(前年同四半期比0.3%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期会計期間末における総資産は、前事業年度末に比べ468百万円減少し、45,878百万円となりました。これは主に売掛金が395百万円増加した一方で、投資有価証券及び関係会社株式に含まれる保有株式が時価評価等により909百万円減少したことによるものであります。

負債は、前事業年度末に比べ72百万円増加し、5,797百万円となりました。これは主に保有株式の時価評価等により固定負債その他に含まれる繰延税金負債が266百万円減少した一方で、未払法人税等が137百万円、流動負債その他に含まれる未払費用が112百万円、未払消費税等が108百万円それぞれ増加したことによるものであります。

純資産は、前事業年度末に比べ541百万円減少し、40,081百万円となりました。これは主に四半期純利益612百万円の計上及び配当金552百万円の支払いにより利益剰余金が60百万円増加した一方で、その他有価証券評価差額金が632百万円減少したことによるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期累計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前事業年度末に比べ705百万円減少し、1,453百万円となりました。

営業活動によるキャッシュ・フローは、605百万円の収入(前年同四半期比14.0%増)となりました。これは主に税引前四半期純利益873百万円、減価償却費274百万円等の増加要因と、売上債権の増加額395百万円、法人税等の支払額128百万円等の減少要因によるものであります。

投資活動によるキャッシュ・フローは、760百万円の支出(前年同四半期比62.5%減)となりました。これは主に有形固定資産の売却による収入252百万円、投資有価証券の取得による支出1,000百万円等によるものであります。

財務活動によるキャッシュ・フローは、550百万円の支出(前年同四半期比0.4%増)となりました。これは主に配当金の支払いによるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2019年5月10日に公表いたしました業績予想に変更はありません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2019年3月31日)	当第2四半期会計期間 (2019年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,119,075	6,013,267
売掛金	2,505,271	2,900,662
有価証券	1,500,038	1,500,049
商品及び製品	474,652	387,164
仕掛品	113,544	110,005
原材料及び貯蔵品	979,911	1,013,567
その他	142,278	225,525
流動資産合計	12,834,772	12,150,242
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	3,952,254	3,874,735
その他（純額）	3,824,905	4,018,823
有形固定資産合計	7,777,159	7,893,558
無形固定資産		
	257,799	231,657
投資その他の資産		
投資有価証券	17,187,511	17,063,424
長期預金	4,400,000	5,400,000
その他	3,898,287	3,148,361
貸倒引当金	△8,340	△8,340
投資その他の資産合計	25,477,458	25,603,446
固定資産合計	33,512,417	33,728,662
資産合計	46,347,190	45,878,905
負債の部		
流動負債		
買掛金	262,334	230,233
未払法人税等	120,998	258,620
賞与引当金	200,647	195,469
その他	970,198	1,160,986
流動負債合計	1,554,177	1,845,309
固定負債		
役員退職慰労引当金	48,350	48,350
その他	4,122,371	3,903,969
固定負債合計	4,170,721	3,952,319
負債合計	5,724,899	5,797,628

(単位：千円)

	前事業年度 (2019年3月31日)	当第2四半期会計期間 (2019年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,650,000	1,650,000
資本剰余金	720,938	720,938
利益剰余金	37,616,470	37,676,625
自己株式	△4,990,539	△4,959,124
株主資本合計	34,996,870	35,088,440
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	5,625,420	4,992,836
評価・換算差額等合計	5,625,420	4,992,836
純資産合計	40,622,290	40,081,276
負債純資産合計	46,347,190	45,878,905

(2) 四半期損益計算書

第2四半期累計期間

(単位:千円)

	前第2四半期累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)
売上高	5,170,987	5,222,504
売上原価	1,892,069	1,858,915
売上総利益	3,278,917	3,363,588
販売費及び一般管理費	3,110,788	2,875,847
営業利益	168,128	487,741
営業外収益		
受取利息	19,214	18,977
受取配当金	147,974	159,038
その他	13,180	11,181
営業外収益合計	180,370	189,196
営業外費用		
支払利息	7,232	7,531
その他	141	336
営業外費用合計	7,374	7,867
経常利益	341,124	669,070
特別利益		
固定資産売却益	—	207,437
特別利益合計	—	207,437
特別損失		
固定資産除却損	2,393	2,921
特別損失合計	2,393	2,921
税引前四半期純利益	338,731	873,586
法人税、住民税及び事業税	81,000	261,000
法人税等調整額	15,027	73
法人税等合計	96,027	261,073
四半期純利益	242,703	612,512

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	338,731	873,586
減価償却費	288,538	274,016
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△74	—
賞与引当金の増減額(△は減少)	△10,374	△5,178
受取利息及び受取配当金	△167,189	△178,015
支払利息	7,232	7,531
有形固定資産売却損益(△は益)	—	△207,437
固定資産除却損	2,393	2,921
売上債権の増減額(△は増加)	△435,294	△395,391
たな卸資産の増減額(△は増加)	67,739	57,370
仕入債務の増減額(△は減少)	△34,641	△32,100
未払費用の増減額(△は減少)	378,335	117,937
未払消費税等の増減額(△は減少)	64,444	108,323
その他	△40,265	△54,082
小計	459,574	569,482
利息及び配当金の受取額	166,903	178,197
利息の支払額	△12,056	△13,268
法人税等の支払額	△82,911	△128,605
営業活動によるキャッシュ・フロー	531,509	605,804
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△1,100,000	△2,100,000
定期預金の払戻による収入	800,000	1,500,000
有価証券の償還による収入	300,000	1,000,000
有形固定資産の取得による支出	△1,706,280	△392,301
有形固定資産の売却による収入	—	252,756
無形固定資産の取得による支出	△20,635	△21,739
投資有価証券の取得による支出	△300,079	△1,000,081
その他	380	380
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,026,615	△760,985
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	700,000	700,000
短期借入金の返済による支出	△700,000	△700,000
自己株式の取得による支出	△119,013	△157
自己株式の売却による収入	118,948	—
配当金の支払額	△548,455	△550,323
財務活動によるキャッシュ・フロー	△548,521	△550,481
現金及び現金同等物に係る換算差額	△17	△146
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△2,043,644	△705,807
現金及び現金同等物の期首残高	3,874,447	2,159,075
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,830,802	1,453,267

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。